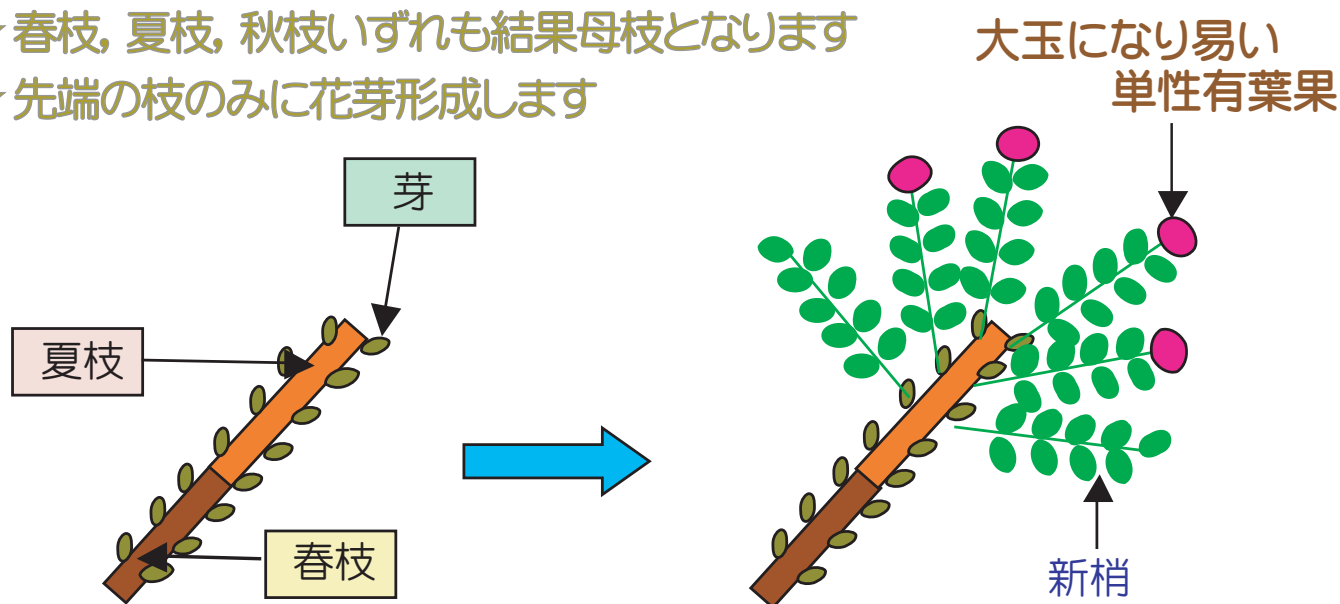


「はるみ」の花はどこに着く？

カンキツの新品種で食味良好な「はるみ」は、隔年結果性が強いことが問題です。その解決には、着果習性に合わせて樹体管理を行う必要があります。

着花習性は…

- ★ 頂芽優勢性が強く、先端の数芽から多くの新梢が発生します
- ★ 春枝, 夏枝, 秋枝いずれも結果母枝となります
- ★ 先端の枝のみに花芽形成します



結果母枝は…

- ★ 20cm程度で伸長が止まった‘春+夏枝’を結果母枝にすると
 - ➡ 単性有葉花が多く着生し、必要着花量が確保でき生産が安定します
 - ➡ 果実肥大が良好で、目標とする2Lの果実となります

結果母枝による着花数・新梢長の違い

母枝の種類	母枝の長さ (cm)	着花数		新梢長 (cm)
		直花	有葉花	
春枝のみ	12.7	0.7	0.4	4.6
春+夏枝	23.5	2.9	4.2	5.1
春+夏+秋枝	15.9	1.6	2.1	5.8